

# ダブル選挙迫る!! 号外

## 町長・議員補欠

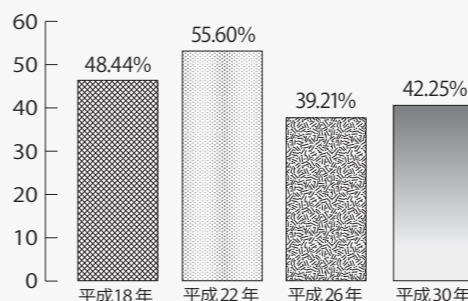
### 5月17日 告示・22日 投開票

現職町長の勇退により、新町長を決める選挙は、複数の候補者による激しい戦いが予想される。一方、議員補欠選挙は定数「2」を巡る争い。住民にとっては最も身近となる今回の2選挙から、ともに町の未来を創造してもらいたい。

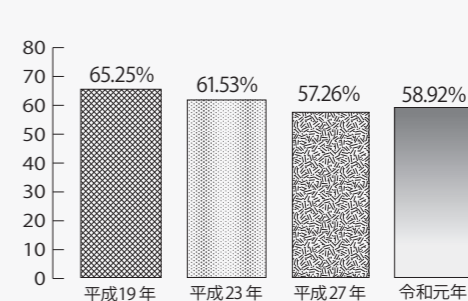
### 各候補者による5日間の政策論争に期待

任期満了による町長選挙と2議員の辞職に伴った議員補欠選挙が、5月17日告示・22日投開票で執行される。40%を超える高齢化、出生率0・83が物語る少子化を背景に、人口は10年で約4800人減少した。「超少子高齢社会」を迎えた当町にとって、来る2選挙は、厳しい財政状況や地域経済の縮小、長引くコロナ禍など山積する課題の解決策を見出す絶好の機会になると考える。住民の皆さんも、ともに考え、悩み、小川町の明るい未来を創造し、充実した選挙戦となるようにお願いしたい。

町長選挙の過去4回分の投票率(%)



議員選挙の過去4回分の投票率(%)



## 求ム！即戦力



新たな「仲間」を心待ちにする  
山口勝士 議長

今回執行される議員補欠選挙の定数は「2」となる見込み。令和3年12月10日付で戸口勝氏、令和4年1月26日付で島田康弘氏がそれぞれ議員辞職した。そのため、公職選挙法第113条の規定に基づき、町長選挙の告示10日前までに欠員が生じたので、同時に補欠選

挙(便乗選挙)が行われる。山口勝士議長によれば「今、地方議会にとって最大の課題は議員のなり手不足。全国の町村の23%が無投票で議員が決定している。原因を挙げれば切りがない。住民代表として、議員が競って様々な角度から、活発な議論をすることが期待されている。皆さん議会を盛り上げましょう！」と、新たな議員の誕生に期待を寄せている。

## 選挙管理委員会 投票率向上 訴える

小川町選挙管理委員会 委員長 野本 祐

選挙があつて政治が動く  
5月22日(日)は、町民の皆様にとって、大事な小川町長選挙と小川町議会議員補欠選挙が行われる投票日です。私たちが、より良い暮らしを願い、私たちに代わってその思いを実現してくれる代表者を選ぶ選挙です。どの候補者に投票するかを知るには、小川町選挙

管理委員会が発行する「選挙公報」が基本です。町づくりへの情熱や意欲、公約実現のための具体的な方策、私たちの意見や願いを受け止めてくれるなど、期待できる候補者の情報が得られます。私たちににとって最も身近な選挙です。町づくりのために、大切な一票を投票していただきたいと思えます。小川町選挙管理委員会は、皆様の選挙への関心を

高め、選挙が身近なことであり大事なことであるよう、啓発に取り組みます。今後、公平・公正な選挙の管理執行に努めてまいります。

### 期日前投票は リリックおがわで

近年、全国的に「政治的無関心」や「若者の政治離れ」などを背景とし、各種選挙

和紙のふしとを小川町

あなたのやる気を 待っています!!

今こそチャンス!

議員報酬

月額 242,000円~ (+期末手当あり)

職務対象: 満25歳以上で当該選挙の選挙権を有する方  
住民対応、条例の制定・改正・廃止及び予算の決定など

### 二代表制 意義と役割

地方自治体では、議会議員と首長をともに住民が直接選挙で選ぶ「二代表制」を敷いている。二代表制の特徴は、いずれも住民を代表し、相互の抑制・均衡から緊張関係を保ち、議会が首長と対等な機関として、

### 対象の拡大

公職選挙法の一部改正に伴い、今回の町長選挙・議員補欠選挙から、いずれも選挙公営の対象となる。選挙公営とは、一定の要件を満たした候補者の選挙運動に係る経費の一部を公費負担する制度。選挙運動に必要な経費の負担を軽減することによって、立候補の機会均等を図ることを目的としている。公費負担の限度額等は別表に示す。

### 選挙公営制度

選挙運動用自動車の使用	
ハイヤー方式	上限単価6万4500円(限度額32万2500円)(5日)
個別契約方式	自動車の借入れ 1万5800円(限度額7万9000円)
	燃料代 7560円(限度額3万7800円)
	運転手の費用 1万2500円(限度額6万2500円)
選挙運動用ビラの作成	
町長選挙	上限5000枚・単価7円51銭(限度額3万7550円)
小川町議会議員選挙	上限1600枚・単価7円51銭(限度額1万2016円)
選挙運動用ポスターの作成	
上限枚数148枚・上限単価2132円(限度額31万5536円)	

特に天候を気にすることもなく、スムーズに済んだ。」と好印象だ。



リリックおがわ前で取材を受ける千野誠人さん